



2
 2012

主題 (2011/2012)

国際会長 Audere est Facere - To dare is todo
 「とにかくやろうー成せばなる」

アジア会長 Audere est Facere - To dare is todo Mission with Faith
 「とにかくやろうー成せばなる」 「信念をもって使命をはたそう」

西日本区理事 Contribute to the Community through Active Services with Love
 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」

中西部会長
 「であいで愛」

大阪クラブ会長 There is no time like the present: One for all, all for one
 「一期一会：ひとりひとりを大切に」

会長 牟 大盛
 直前会長 脇 本博
 副会長 森 嶋弘明
 清水 汎
 豊 島 正
 書記 本 博
 会 計 尾 和 信
 北 村 知 三
 プリテン 松 原 伸 幸
 連絡主事 田 尻 忠 邦

【今月の聖句】

「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」

ヨハネによる福音書 13章 34節

【2月例会プログラム】(TOF・CS・FF強調月間)

とき：2012年2月14日(火) 18:15~20:15

ところ：大阪土佐堀YMCA 301号室(9Fではありません)

司会 脇本 博

1. 開会の鐘 牟 大盛会長

2. クラブソング

3. ゲスト・ビジター紹介

4. 会長報告

5. 「日々の糧」 斉唱・晩餐(軽食)

6. スピーチ 五条孝次郎さん(大阪クラブ)

テーマ：「チュニジア近況」と「サラワク(ボルネオ)との交流」

7. 誕生日・結婚記念日のお祝い

8. ニコニコ・インフォメーション

9. YMCAニュース

10. 閉会の鐘 牟 大盛会長

受 付：北村・條・田尻メネット



於中西部合同新年会

【第2例会のご案内】

とき：2012年2月21日(火) 19:00~20:30

ところ：大阪土佐堀YMCA 6階 601号室(変更になることがありますので、ご注意ください。)

今月のお誕生日：清水民夫（４）窪田正道（１２）向井忠治郎（１９）

メネットさんお誕生日：松原敏美（１５）

結婚記念日：該当者なし

【聖句に寄せて】

宇野 義男

私たちは、自分の周囲にすっかり慣れてしまうと、物事のその本当の意味がわからなくなってしまうことがあります。

日本では、「いただきます」と言って食事を始め、「ご馳走さま」と言って食事を終えるのが習慣です。食事の前にお祈りをする国民は多いが、食事の後に決まった挨拶をする習わしをもっている国民は珍しいと言われています。「ご馳走さま」は、いったい誰に対して言うのかと、昔幼稚園の園長時代に園児に聞いてみました。大きい声で口々に「お母さんに」「お父さんに」「神様に」と答えてくれました。

「ご馳走さま」とは読んで字の如く、駆け回る・走りまわるという意味です。つまり、奔走する、苦労して探し回るといった意味になります。園児たちにとって身近な、両親をはじめ家族の人たちが気を配り、犠牲を払って整えてくれたものに対する感謝の言葉に外ならない。毎日無意識に使っているかもしれない「ご馳走さまでした」として「ありがとう」。その短い言葉のもつ意味通りに、心をこめて相手に伝えたいものです。

【１月中西部合同新年会及びクラブ新年会出席状況】

1月出席状況		在籍	例会出席	アメ ツイ ブク	メ ネ ット	ゲ ス ト	ビ ジ ター	出席率	二献 コ金 ニ コ
	正会員	14	6	1	2			50.0%	新年会のため実施しなかった。
	功労広義会員	4							
	合計	18	6	1	2				

第1例会は中西部合同新年会、第2例会はクラブ新年会を兼ねました。

中西部合同新年会として多くのゲスト、ビジターが参加されましたが、個々の御芳名記載を省略致します。

メネット参加者：（新年会）脇本真知子

中西部合同新年会参加者：牟大盛会長・北村知三・末岡祥弘・脇本博・清水汎・松原伸幸

クラブ新年会兼第2例会参加者：

牟大盛会長・脇本博・北村知三・清水汎・田尻忠邦・松原伸幸・崔金順・脇本真知子

【故前島正一兄を偲んで】

会長 牟 大盛

今年、1月7日に永年大阪クラブでご奉仕され、療養中でありました前島正一先輩がご逝去されました。享年99歳でございました。1月9日の前夜祭につづき、10日には告別式がもたれました。

前島正一先輩は、クリスチャンで医師の家庭に1912年11月22日に4男1女の次男として生まれ、1929年に受洗されました。太平洋戦争中は軍医として戦地に赴き、中国東南アジアを経て最後は、激戦地区のガダルカナルの戦地で終戦を迎えられたとのこと。84歳まで医師として現役を貫かれましたが、5年前に骨折の事故にあいまして、そのまま寝たきりの状態であったとのことでした。想像を絶するご体験をされましたが、帰国後は医師として、ワイズメンとして弱いものの味方に立ち生涯を全うされました。

文子奥様は、弔問客にご生前の御礼を述べられる中、キリストの愛とお慰めをご自身も感じて居られるようでした。ご息がおられず、代わりに甥ごさんがごあいさつをされました。前島先輩は、ご生前

に幼くして亡くなられた、ご長男の代わりに家長として弟や妹のみならず甥ごさんたちにも多くの愛を与えられたとのこと。

故人の一生を見習い、命の時間を少しでも多くの苦しんでいる隣人と共に過ごすことができればと思います。

ご遺族の上に、主のお慰めと祝福が溢れんことをお祈り申し上げます。

【CSよりお願い】

1月22日(日)年賀ハガキの当選番号の発表があり、4等(お年玉切手シート)は下2桁(27)(44)が当選番号となりました。

当選された方は郵便局で切手に換えて、封筒に入れ、枚数と名前を書いて2月例会にお持ち寄り下さい。

なお、近年当選数が少ないので、募金を同封して提出して頂ければ幸いです。

献品は下記の住所にお願いします。

「釜ヶ崎いこいの家」 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋2-5-23 TEL:(06)6631-2169

【クラブ役員会兼クラブ新年会報告】報告者：書記 脇本 博

日時：2012年1月17日(火) 18:30~19:00

場所：「徐園」

出席者：牟大盛会長、清水汎、北村知三、松原 伸幸、田尻忠邦、脇本 博

崔金順メネット、脇本真知子メネット

役員会とクラブ新年会を兼ねて徐園で開催した。協議後、牟大盛会長の乾杯の音頭で開宴し、食事をつまみながらビール、老酒の後押しもありそれぞれ話しがはずみ、今後のHHキャンプ事業や、歴史、政治、経済、外交などは韓流ドラマまで談論風発楽しい会になりました。

今年の大阪ワイズの勢いを感じさせる新年会でした。

協議内容

1) 2月例会(TOF)プログラムについて協議した。

TOF月間のため、軽食とする。サンドイッチ+コーヒー

2) 中西部会新年会報告と評議会の報告が牟大盛 会長からあった。

3) 次期役員について 牟大盛 会長から報告があった。

森嶋メンから昨年、ご自身のいろいろな状況から、来期の会長は辞退したい。将来的に出来るような状況になれば、会長を務める旨のお話があり、役員会ではこれを了承した。

会長選考委員会の指名によって、北村知三メンが会長を引き受けてくださった。

書記は、牟大盛メン、会計は尾和信孝メン、中西部CS主査は脇本博が担当となった。

4) 基金拡大委員会とOG、OB交流会を開催する

日時：1月26日(木)午後7時~8時30分

場所：大阪YMCA会館6階601号室

内容：拡大基金委員会

1) 2012年度HH国際キャンプについて

2) HHキャンプ支援ユース委員会(仮称)の設立について

3) 懇親会

大阪クラブからの多数の出席を御願いたい。

5) 3月例会(EF, JWF)プログラムについて

演題 「ファンド事業について」

スピーカー 西日本区 ファンド主任 三牧 勉さん

6) 今後の例会について協議した。

4月例会(Yサ) スピーカー 豊島メン

5月例会(L T) 特別例会 キャッスル 未定

6月例会(評価、計画)

7) 今後のE M C活動について

数名のメンが会長以下役員を務めなければならない状況がここ数年続いている。

この状態は緊急避難的なもので、決してこの状況が続くことが好ましいとは思っていない。

是非会員の皆様のご協力をお願いしたい。また、言うまでもなく新会員の加入に努力して欲しいと牟大盛会長からお話があった。

今後の行事

3月10 - 11日 次期会長、主査研修会

6月9 - 10日 区大会

注意事項

2月と4月の例会はいつもと部屋がちがいます。

301号室です。

皆様お間違いなさいませぬように！！！！

【中西部合同新年会参加報告】

脇本 博

1月14日(土) ホテルグランヴィア大阪20F 名庭の間で、140人の参加をもって開催されました。清水誠治郎中西部長の開会点鐘で、年始めの私たちにとっての合同例会が始まりました。中西部長からは大震災被災者にたいするお見舞いと世界のY M C Aならびにワイズメンズクラブからの3億円近い義捐金が寄せられ、有効に活用されていると報告がありました。またワイズ運動発展のためE M Cの重要性を強調されて登り籠の如きワイズメンズクラブにしようと龍年にふさわしい新年の挨拶を述べられました。中川理事長からはY M C Aに対するワイズメンズクラブの貢献に謝辞を述べられ、また昨年の大震災のうちにY M C Aの救援活動が被災者に、阪神大震災の折りと同様に大変感謝され、Y M C Aへの世間の認知度がさらに高まったとの報告がありました。日本全国125のY M C Aのうち大阪、神戸、熊本を含む5カ所のY M C Aが公益法人の認可を受けY M C Aがさらに飛躍する年になるだろうと話されました。末岡総主事からはY M C Aの数あるプログラムのなかから、今年から本格的に始動する中津の国際学校のお話がありました。中学生までのインターナショナルスクールを開校し、また子供館、保育園を開設し、Y M C Aとして次世代を担う子供たちの育成に力を入れるとのこと。浅岡西日本区理事、また成瀬次期理事も駆けつけくださり、賑々しい新年会になりました。

「新春を寿ぐ」というタイトルで府立東住吉高校の芸能文化科の皆さんがお琴8弦を並べて箏曲「飛躍」を演奏してくださいました。8弦とも誰一人調子を狂わすことなく、音階もリズムも8人ともぴったりあった演奏には驚きました。余程の練習の成果でしょう。ついで11の棹と8人のお囃子で長唄を聞かせて頂きました。会場いっぱい音曲が反響し、すばらしい演奏でした。最高の正月気分を味わえました。若い人達が日本の伝統芸能を守りそだてていくような、教育の場ができたことは本当に喜ばしいことと思えました。同時に彼らに暖かい拍手と声援を参加者全員送りました。

内田中西部連絡主事の乾杯の音頭で祝宴が始まりました。テーブルはクラブごとの指定ではなく、ミックスで他クラブの方との交流ができて楽しかったです。アピールタイムでは河内クラブの震災復興チャリティ

ーコンサート(3/20)、高槻クラブの30周年記念例会(4/15)、西クラブの25周年記念(2/19)、センチニアルクラブの桂吉称師匠の落語会(2/18)、西日本区大会(6/9)などの紹介がありました。次期中西部長のなかのしまクラブの江見さんの閉会点鐘でお被楽喜となりました。クラブ内だけでなく時間が許せば部会にも参加して交流の環を広げ多くの人と交わり、ワイズライフを多くの仲間に味わって欲しいと思いました。個人的なことですが、年末年始から仕事が忙しく当日は疲れ切っておりました。出席するのも少し億劫でしたが、皆さんと新年の挨拶を交わしエネルギーを頂戴して帰って来ました。帰りには大阪の田舎の玉造から目もくらむような新装なった大阪駅を見学し、都会の中の格差を改めて感じてしまいましたが、好き一日でした。(参加者 牟 大盛 会長、末岡祥弘、清水汎、北村知三、松原伸幸、脇本博、脇本真知子)

【阪和部合同新年会参加報告】

清水 汎

2012年1月9日南YMC A会館で阪和部新年合同例会が開催され、牟会長、私清水メン、メネットの3名が大阪クラブから出席しました、全体で90名の出席でしたが、中西部から大阪クラブを含めて5名の出席でした。開催時間は16:00~19:00でした。

プログラムは第1部では、松本阪和部部長の開会点鐘に始まり、部長、藤井奈良YMC A総主事、松野泉北クラブ会長の挨拶がありました。

第2部では食事と歓談があり、飯沼メンの食前感謝、伊藤圭介元理事の乾杯がありました。

その後 新春ビッグショウとして、8クラブの隠芸として合唱、手品、その他いろいろのショウが披露されました、圧巻は泉北クラブの辰年に因んで手製でドラゴンを作り中国のドラゴン踊りを披露し、皆さんの拍手喝采を浴びました、皆さんはそれをバックに各クラブごとに写真を撮っていました。

その後各クラブからアピールがありました、西日本区大会、堺クラブ50周年、泉北クラブ30周年、長野クラブ35周年、河内クラブチャリティコンサートなど、今年は記念行事がめじろ押しようです。

部会として従来は事業報告、各クラブの本年度の目標等の報告プログラムが多くあったように思いますが、堅苦しい話よりお互いの親睦を図る事を重点に置き、気楽に楽しい会にしたようです。各クラブともその運営には苦心しているようで、少ない会員で如何に継続をしていくか時代とは言えお互いに難しい時期に来ているような感じを受けました。

【第9回聴覚障がい基金拡大委員会報告】

田尻 忠邦

日時：2012年1月26日(木)午後7時00分~8時30分

場所：大阪YMC A会館6階601号室

出席者：北村知三、脇本博、脇本真知子、條イサヨ、清水汎、田尻忠邦 (以上大阪クラブ)

西村智恵、西村佳恵、高土雄輔、桜木貴博、小山真利子、吉田亜衣、

勝矢千晶、(以上HHキャンプボランティア)

伊田洋子、万並由美子(手話通訳者)

お弁当による夕食をすませてから話し合いと懇談のひと時を持ちました。2012年初の拡大基金委員会に相応しく、過去最高の出席者を得ましたことは、今年のHH国際キャンプに寄せる皆さんの関心の高さの現れであると、嬉しい限りです。

協議事項

1. HH国際キャンプ2012

- ・ マカオYMC Aから、HH国際キャンプ2012の第1報は、まだ発信されていない。

例年1月末から2月初旬にかけての送信とのこと。

- ・ 條メンが、昨年11月にマレーシア・クアラルンプールを訪問され、HH国際キャンプのアドバイザーであるルーシー・リムさんより得た情報によると実施時期は従来どおりの7月末から8月初旬にかけての予定。キャンププログラムは香港YMCAの施設で行い、観光と閉会式はマカオYMCAで行うとのこと。

2. HHキャンプ支援ユース委員会（仮称）の設立について

- ・ 会長代行の北村メンより設立の趣旨についての説明があった。大阪クラブとしては、ユース会員の制度を設けているが、未だ機能していない。現在活動してくれているHHキャンプOB、OGは、ユース会員の規定（29歳未満）には、合わないが実質ユース会員としての活動をしている。会の名称は、何であれ、委員会を設立することで、自主的に活動を展開し、今後とも大阪クラブの活動に連なって後進の指導養成をしてもらいたい。大阪クラブとしても全面的にサポートするし、将来的にはワイズメンとしての活動も検討してもらいたい。
- ・ 脇本メンより、今年は、HH国際キャンプの年であり、去年の経験を踏まえ一刻でも早く広報活動のため、府内の聴覚支援学校を訪問したい。第一報が届いたら直ぐに知らせたい。去年のHH国内キャンプでのOB、OGの働きは素晴らしかった。一日も早く、大阪YMCAの認証リーダーとして活動できることを望んでいるとのコメントがあった。
- ・ 田尻連絡主事より、リーダー認証の件については、関係各位と調整中であるとのこと。また、リーダーとして活動するには、土佐堀YMCAなどの地域Yにおいて協力会員（年会費1万円以上）としての登録と、年数回実施されるリーダートレーニングに参加する必要があることの報告がなされた。

3. その他

- ・ 日本の大学生は7月末に前期試験があり、HH国際キャンプの日程が7月末からでは、参加が非常に難しい。日程の変更はできないのか。
- ・ HHキャンプOB、OGの中核をなすメンバーは、ほとんどが30代なので、次の世代を養成して欲しい。
- ・ HHキャンプを担当する本部スタッフが頻繁に交代し、継続性に欠けていた。スタッフにより、HHキャンプ後の土佐堀カーニバルやチャリティランなどの大阪YMCAのイベントへの呼びかけも、まちまちであったため、20代のOB、OGの人材が薄い。
- ・ 去年の国内キャンプのキャンパーを対象に、二月に一回程度で茶話会のような例会を持ってはどうか。そこに過去のHH国際キャンプの参加者に声がけをしたらどうか。

4. 次回拡大基金委員会について

第1報が届き次第召集することを確認した。

【今の私】

HHキャンプOG 小山 真利子

「人生そのものが、再会」と、誰かが言っていましたが、去年のHH国内キャンプ、土佐堀カーニバルで沢山の貴重な体験、嬉しい再会がありました。

HH国内キャンプでは、国際キャンプに参加したメンバーと再会し、リーダー養成を学びました。初めての経験でとまどいましたが、回数を重ねていくにつれ、少しずつ自信がつき、周囲の方を楽しませることが出来ました。又、土佐堀カーニバルで、過去にHHキャンプに参加したメンバーと再会し、一番驚いたことは、その時に高校生でやんちゃ坊主だった子が、結婚していたことでした。立派に成長し、現在は旅行社に勤めていると聞き、とても嬉しかったです。YMCAのスタッフ、大阪ワイズメンズクラブ、手話通訳の方々、HHキャンプに関わった方々がいたからこそ、素敵な「再会」を味わうことが出来、感謝の気持ちで一杯です。

そして、今、私がハマっていることは、“片付け”です。実は、私は2年前迄“片付けられない女”でした。言い訳させてもらえるなら、超多忙だったのです。私が、片付けるきっかけを作ってくれた2冊の本を紹介します。

「人生がときめく片付けの魔法」(近藤麻理恵著)

「必要なものがスグに！取り出せる整理術」(池田暁子著)

読んでみて少しずつ片付けてみると、何とゴミ袋20袋分のゴミが出ました。使わなかったり、眠ったままだったものもショップで売ったり、粗大ゴミに出して、家の中も心もすっきりとし、次々と良いことが起こりました。

皆様もぜひ挑戦してみてください。素晴らしい「再会」があるかもしれません。

【前島正一さんの思い出】(先着順で記載)

脇本 博

私どもが大阪ワイズメンズクラブに入会させて頂いた当初、先生はいつも素敵な奥様と一緒に例会に参加されていました。未使用の切手をいつもたくさん寄付して頂きクラブとしては大変助かりました。明治に日本の郵便制度を作り上げた前島密さんのご一門であることを後に伺い、なるほどと変に納得してしまった記憶があります。

先生は大東亜戦争に軍医として従軍され、従軍記をブリテンに投稿してくださいました。その内容をスピーチして下さったこともあります。南方で戦い、戦いというよりは連合国側の物量に負け、撤退の連続であった由です。退却時輸送船が撃沈され命からがら島に泳ぎついて助かったなどとお話を伺いました。寡黙な先生と最初はお見受けしましたが、お元気な時こちらが話しを向けると、よくお話してくださいました。ご病気になられて、例会には欠席されましたが、退会されず正会員のままで長く私たちを応援して下さったのは、感謝に堪えません。今、先生の訃報に接し、お人柄を懐かしむとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。メネットさまもお寂しくなられたことですが、お力を落とされることなく、お身体をお大事にお過ごしになれますようお願い申し上げます。前島先生いろいろと本当にありがとうございました。

清水 汎

前島メン2012年1月7日に99歳で帰天されました、1月10日阪神住吉駅近くの会館で葬儀が行われました、大阪クラブより末岡総主事、牟会長、私の3名が出席しました。

前島メンは2010年長期入院のため退会されましたが、60年以上大阪クラブに在籍され大阪クラブの発展、維持に貢献されてきました、地味な方でしたが、その真面目で誠実な事は最高でした。長く戦争に軍医として参加されガダルカナルの戦闘にも参加され九死一生で帰国され日本基督教団大阪教会に所属されYMCA、ワイズメンズクラブにも長期に涉って奉仕されました。

ワイズメンクラブ活動では、ご夫妻揃って国際大会、国内大会、例会には、殆んど出席され、また献金活動に積極的に参加された模範的なワイズメンでした。例会には、必ず新切手のセットをお持ちくださりその奉仕の姿は、キリスト精神そのものでした。大阪クラブでは岩越、三井メンのような表面的活動でなく裏面的な活動で大阪クラブを支えて下さった事を私も感謝のこころで見っていました。

10年前ですが、故中川メンから前島さんが、亡くなったと電話があり、私の車で急いで中川メンと一緒に前島宅を訪問したことがあり、そのとき前島メンは健在であっ気を取られた事が思い出されます、その中川メンが先にお亡くなりになり不思議な思いを致します。大阪クラブも先日は遊上メンがお亡くなり、時代の大きな節目に来ているのではないかと思います、脇本メン始め現在のメンバーで如何にクラブの再生を計るか求められていると思います。

北村信子

前島様ご夫妻とは例会が終わると梅田までよく一緒にいたしました。メネット様とはなんとなく波長が合い(合わせて下さっていたのだと思います)よく笑いおしゃべりさせていただきました。親子ほど年齢が違う私たちをご主人様はどう思って見ていらっしゃったのでしょうか?

ご主人様が入院なさってから、雨の日も風の日も毎日メネット様は入院先へ通われていたご様子で、そのお話もお電話で幾度となく明るくユーモアを交えてお話をいただきました。これからはお寂しくなられますが、どうかお気を落とされませんようにとお祈りするばかりです。

北村知三

入会した当時、前島さんから個人的に何度もおはがきをいただき、クラブの色々なエピソードなど書かれていて、当時ワイズの例会で硬い雰囲気を感じていた私の気持ちを和らげてくださいました。また私の新米会長のときには、役員会で発言は余りありませんでしたが、よく隣に座られ支えていただいているというお気持ちをいつも感じていました。

穏やかで紳士的な前島先生のワイズライフの中からは、太平洋戦争で軍医としてとても過酷な経験をなされたことを、少しも感じることはできませんでした。

【Y M C A ニュース】

第226回大阪Y M C A 早天祈祷会

日 時：2月17日(金) 7:30~8:30

場 所：大阪Y M C A 会館10Fチャペル

証 し：眞嶋克成氏(公益財団法人大阪Y M C A 理事)

参加費：300円(軽食付き)

キリスト教オープンセミナー

今回は、東日本大震災から一年を迎えることもあり、宮城県石巻市の日本キリスト教団石巻山城町教会で被災され、本年4月より日本キリスト教団森小路教会(大阪市)に赴任された鈴木淳一牧師夫妻を迎えて、震災の体験を通して我々はどう受け止め、どう生きるべきか…語っていただきます。ぜひご参加ください。

テーマ：『東日本大震災の体験を通して 今をどう生きるべきか』

講 師：鈴木 淳一 牧師、鈴木 斐善姫(パーソニ)牧師(日本キリスト教団森小路教会牧師)

日 時：2012年 2月28日(日) 14:30~16:30

会 場：大阪南Y M C A (Y M C A 学院高等学校)

会 費：無料(定員60名)

お申し込み・お問い合わせ

お申込みの際にお名前と連絡先をお知らせください。

南Y M C A キリスト教委員会 貝 電話 06-6779-5690 FAX 06-6779-1831

【会費納入のお願い】

会計 尾和 信孝

1月から後期に入りますので、会費の納入を宜しくお願い申し上げます。

1)正会員 会費後期分 35,000円 (なお、広義会員は、会費1年分25,000円です。)

会費振込み口座

三菱東京UFJ銀行

谷町支店

普通口座

1036689

口座名義

大阪ワイズメンズクラブ会計 尾和 信孝

【今後の行事予定】

今後の行事は、次のとおりです。積極的な参加をお願いします。

1. なかのしまクラブ15周年記念例会・・・2月8日(水)18:30～ 於：YMCA10F
2. 大阪西クラブ25周年記念例会・・・2月19日(日)13:30～ 於：ホテルクライトン新大阪
3. 京都プリンスクラブ25周年記念例会・・・2月25日(土)16:00～ 於：プリンスホテル京都
4. 大阪長野クラブ35周年記念例会・・・4月1日(日)12:00～ 於：市民交流センター
5. 高槻クラブ30周年記念例会・・・4月15日(日)14:40～ 於：たかつき京都ホテル
6. 京都パレスクラブ40周年記念例会・・・4月22日(日)16:00～ 於：(京都)ホテルオオクラ
7. 堺クラブ50周年記念例会・・・5月11日(金)18:55～ 於：なんばパークス8Fフュージョン
8. 豊中クラブ50周年記念例会・・・5月13日(日)15:00～ 於：千里阪急ホテル
9. 第15回西日本区大会・・・6月9日(土)～10日(日) 於：滋賀県立文化産業交流会館
長浜ロイヤルホテル
10. 泉北クラブ30周年記念例会・・・6月23日(土)12:00～ 於：堺リーガロイヤルホテル

参加希望者は、脇本書記宛(090-9286-0108 fax 06-6761-9713)ご連絡ください。

【編集後記】

淡路島では、水仙が咲き、梅の名所からは、ちらほら梅の便りが届くようになりました。春節も過ぎ、春の足音が近づいてきます。とは言っても、寒いですし、大雪の被害も大変です。前島さんが天国に召され、私が入会したところにご活躍されていた先輩方を次々に喪うのは、寂しい限りです。(編集委員：松原伸幸)